

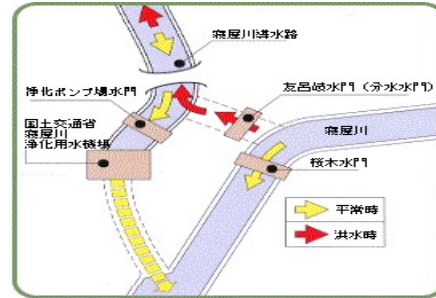


森と海の自然科「テーマ：里・川」

## 淀川水系 寝屋川上流域散策の記録

観察河川(上流から下流へ)：傍示川、タチ川、北谷川、寝屋川、打上川、南前川、  
寝屋川浄化導水路、二十箇水路、友呂岐水路

1. 日時： 令和2年9月10日(木)10時30分
2. 集合場所： JR学研都市線星田駅
3. 参加者： 20名



三つの水門と導水路の関係略図

今日は寝屋川上流部を訪ね、流域の治水、利水及び河川整備の現状を見て歩きました。スタート地点から程なくして伝・寝屋長者屋敷跡に着く。そこは鉢かつぎ姫伝承が生まれた所で、その姫を模した石のモニュメントがあり、その前で集合写真を撮る。そこから小高い所にある寝屋神社へ参り今日一日の安全を祈願する。このあたりは古来より山根街道沿いに開けた寝屋という集落で川の名前のルーツになった。



鉢かつぎ姫



寝屋神社

タチ川と北谷川の合流地点である寝屋川の起点を經由して打上川治水緑地に至る。ここで昼食の予定であったが、雨が降り出し隧道の中などに避難して食事をすませた。この緑地は甲子園球場の3倍程の広さがあり豪雨時の雨水貯留池、災害時の避難場所として活用されている。なるほど広いわけだ。京阪電車のガードをくぐると大きな建屋が見えてくる。川の流れを制御する水門である。この辺りには3つの水門があり、それらの働きと位置関係を整理するために簡単なイラスト略図を上記に掲載しました。



寝屋川の起点



打上川治水緑地



桜木水門

ここからは寝屋川と並行して流れる友呂岐水路沿いを散策する。そこには緑地内遊歩道があり、京都にある疎水沿いの散策路が思い起された・・・が、水の流れが弱く水面だけを見ていると透明度がなくどぶ川のようなのが残念であった。遊歩道をしばらく歩きペル大利商店街を抜けると「三枚板舟」のレプリカが見えてくる。ここが今日のゴール地点である。この舟は往時、この辺りの田畑にめぐらされていた井路(水路)を使って農産物や下肥を運搬していたそうです。その後、京阪寝屋川市駅まで歩き全員無事に帰路につく。今日は途中雨にも遭遇し少し蒸し暑い1日であったが、全員が元気に全行程7kmを完歩することができた。



友呂岐水路



友呂岐緑地内遊歩道



三枚板舟

### 【環境への気付き】

寝屋川の水質は以前の急激な都市化、工業化により極端に悪化し、かつて東の隅田川と並び‘汚い河川’の西の横綱として悪名をはせていた。しかしその後の淀川からの浄化導水路の建設、流域の下水道整備などにより、その水質は大きく改善され本川沿いに親水公園が作られるまでに変身していた現状に驚かされた。